

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスあらた 京成佐倉事業所		
○保護者評価実施期間	2026年3月9日		2026年3月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2026年3月10日		2026年3月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご本人が習得したいことや伸ばしていきたいことを個別の活動で取り組み、集団や他者との関わりで学んでほしいことは集団での活動で、それぞれをご利用日にどちらも取り入れて行っている。	個別活動については、ご本人の特性や習得していきたい目標を保護者と相談しながら学校や病院での取り組みも含めて決定している。 集団活動については、曜日によって目的を変え、ルールを学んだり他者と協力する等、関わりを増やしていけるような活動を取り入れている。	お子様達が楽しんで参加できるような活動を考えている。 職員が研修などに参加し、そこで学んだことをプログラムに取り入れている。 どの職員が担当しても同じ支援ができるように共有している。
2	保護者との情報を共有することができており、連携が取れている。	.	必要に応じて関係機関との情報の共有や、ケース会議を増やしていけるように働きかけていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者やご兄弟に参加していただくイベントが新型コロナ以降開催できなくなってしまった。また、土曜・祝日の開催を考えた場合、ご利用人数が少ないため参加していただける人数が限られてしまう。	平日の開催を目指したいが、保護者が仕事の関係で参加が難しくなると考えている。また、施設の広さが限られていることと感染症の流行する冬の時期を避けるなどしていくと、展開する内容を絞らなければならない。	イベントにとらわれず、日頃の活動の様子を保護者に参観していただくなどの機会を作っていければと思う。 イベントを開催する際には、内容や参加人数に応じて場所の確保を検討していく。
2	地域での交流については、買い物学習や地域への外出学習を実施しており、社会性の広がり機会を設けているが、更に一歩踏み込んだ取り組みが必要である。	外出先で関わる方々とのコミュニケーションの図り方が難しい。	他の放デイとの交流の場を年間で3回設けることができた。 更に、4事業所合同イベントでは、高校生との交流が実現できたので、それらを足がかりに広げていきたい。また、図書館などの公共施設を利用する機会を確保できているが、地域で活動できる機会を更に増やしていけるようにする。
3			